

## 1 教職員の資質・能力

### (1) 改善策（7月末立案）

全ての項目で「全く当てはまらない」という回答がある。年度末には、当該回答者を半減する（①）ため、授業参観や学校行事等の機会（②）を大切にするとともにH P等で啓発（③）を図る。

### (2) 結果

① 「全く当てはまらない」という項目が、7月の評価に比べて減少傾向にある。

区分	項目	12月 (人)	7月 (人)
1	教職員の資質・能力	1	3
2		1	5
3		3	3
4		2	4
5		4	6

### ② 授業参観や学校行事の実施

昨年まで新型コロナウイルス感染防止のため自粛していた学校行事や学校開放が計画通り実施できた。

9月30日（金）フリー参観日（午前）

10月 6日（木）前期通知表配付日

10月30日（日）アオバズクフェスティバル（学習発表会／親子環境教室）

12月 2日（金）校内持久走大会、学級懇談会

### ③ 学校ホームページ（閲覧回数累計等）等が伸びている。

9月末 49, 562回

10月末 51, 862回（前月末+2, 300）

11月末 54, 162回（前月末+2, 300）

<https://es.higo.ed.jp/okoba/> QRコード →



### ④ その他の情報発信（玄関前のテレビや学校便り）



## 1029 大畑っ子の画像

写真：2枚 更新：10/29 学校サイト管理者

事務室前にもう使用していない大型テレビを設置しました。そのテレビで大畑っ子の動画やデジカメ画像をいつも流しています。子どもたちも立ち止まって見ていることも多くあります。大畑小に来校の際は、是非ご覧ください。

## 2 自ら学ぶ力

### (1) 改善策 (7月末立案)

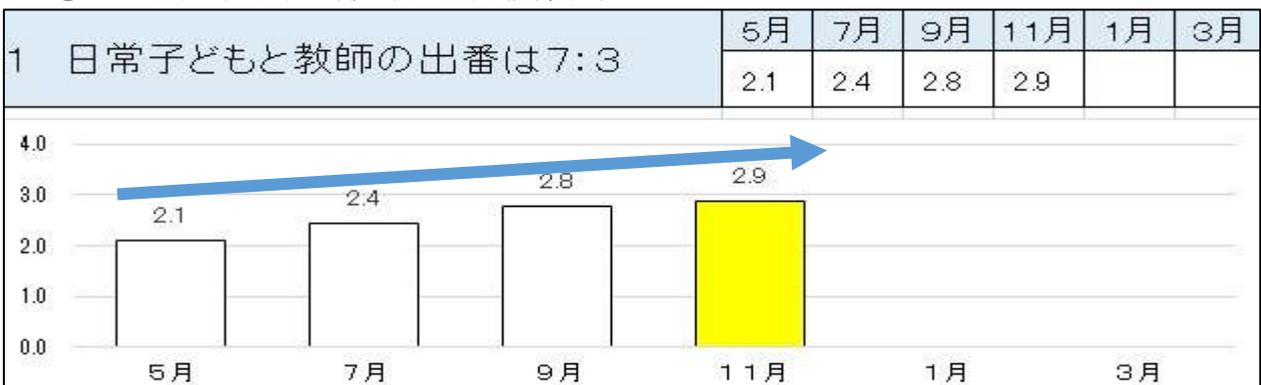
「授業参観の時に、進んで発表したり話し合ったりしている」場面を確実に届けるために、日頃から「子どもと教師の出番を7:3」にする授業実践(①)を積み重ねる。

### (2) 結果

① 学校評価では「あてはまらない」(あまりあてはまらない+全く当てはまらない)評価数が減少傾向にある。

項目	調査	よく当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない	分からない
我が子は、授業参観の時、進んで発表したり、話し合ったりしている。	7月	15	22	19	4	4
		37人		23人		
	12月	8	21	10	3	4
		29人		13人		

② 共通実践事項 (教師自己評価集計)



③ 7:3の授業づくりをするための手立て (教師記述から一部抜粋)

子どもたちが自分たちで解決していく場をもっと増やす。(1年:9月)

語彙力が少ない子どもがいるので、もっと語彙力をつけて話し合い(ペア活動など)が活発になるようにする。(2年:9月)

指示でペア学習やグループ学習が進められるようにしたい。(3年:9月)

対話の型を指導する。全員の発表の場(挙手の場)をつくる。机の配置を工夫する。ノートだけでなく、ホワイトボードや付箋など書く活動における「型」を活用する。(4年:5月)

どの教科でも子どものやり取りを中心に進めている。グループ活動、ペア活動を増やし、子ども同士の対話的な活動を以前よりも増やした。今後は、学習リーダーを育て、自分(教師)の出番をもっと減らしたい。(5年:9月)

発表の話形を伝える。「つなぎの言葉」。リーダーを育てる。(6年:9月)

④ 校内研修や年間6回のSEO週間の実施

教師間でお互いの授業を見合い、評価等をしあう等の学び合う研修を確実に保証している。特にSEO(See each other=授業を見合う週間)では、自由に参観し合い指導力(授業改善:授業の主体は子ども)に努めている。

### 3 関わり合う力

(1) 改善策 (7月末立案)

4/5項目で「全く当てはまらない」と回答した保護者が若干名いる。「年度末には0」になるように、日々の教育実践に取り組むとともに、保護者への協力を依頼する。

(2) 結果

① 学校評価では 「全く当てはまらない」という項目が、7月の評価に比べて増加傾向にある。

区分	項目	12月(人)	7月(人)	
1	関わり合う力	我が子は、基本的な生活習慣が身についている。	1	0
2		我が子は、人を差別したり悪口を言ったりすることがない。	2	1
3		我が子は、学校や社会のきまりを守ることができる。	2	1
4		我が子は、学校に行くことを楽しみにしている。	4	2
5		我が子は、大畑のことを知り、大切にしていこうとする態度が育っている。	2	1

基本的な生活習慣等については、今後も保護者と情報をやり取りしながら協働して行う必要がある。また、「学校に行くことを楽しみにしている。」については年度末には「0」にするよう、学級経営の充実やわかる授業づくりなど継続して共通実践していく。

### 4 関わり合う力

(1) 改善策 (7月末立案)

「我が子は、根気強くあきらめない心が育っている。」について「全く当てはまらない」と回答している保護者が2名いる。合い言葉の「う」(動く!)を更に意識化・日常化(②)する。

(2) 結果

① 学校評価

番号	項目	調査日	よく当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない	分からない
20	我が子は、根気強くあきらめない心が育っている。	7月	7	30	21	2	3
		12月	7	27	10	2	0
			37人		23人		
			34人		12人		

#### 《 令和4年度 合い言葉 》

「ありがとう」で、もっとつながる大畑小

⑤ う動く! (自分のために、みんなのために)